

富田デイサービスセンター

自分でできる喜びを～食事動作～



H様。80代女性。既往として脳梗塞・血液難病を抱えられています。最近では手のしびれ、変形による可動域制限が目立ってきています。

出来ることなら今後も
箸を使ってご飯を食べ続けたい



箸でつかみにくいな



問題点

- ・第1指動作時の痛み
- ・指でつまむ力（ピンチ力）の低下

私たちが生活する中で必ず行う「食事動作」。食事は自分自身で行うことで、自立した生活や生活の質の向上を図ることができると考えられています。今回は食事動作のリハビリを紹介していきます。



K様。90代女性。既往として神経痛があり、肩の痛みや手の痛み・しびれの症状があります。

食べることが好きだから
箸でも食べれるようになりたい



問題点

- ・肘屈曲時の前腕の痛み
- ・肩関節 肘関節の軽度制限
- ・手指の動作時の痛み・痺れ



「中でも食事がしんどい」
食べることが好きだったが
最近では食欲が低下中。

機能訓練実施



ここの痛みはどうでしょう

手指可動域訓練・疼痛緩和リハ



少し痛むな



親指が少し痛むな



軽く握って下さい



握みにくいな



少しきついな

箸を使用しての動作訓練



こうやって持ちます



握みやすいな



リハビリ用の箸

現在リハビリ継続中です！
「せっかくするなら箸で
ご飯を食べれるようになり
たい」とリハビリに励ま
れています。